

北九州SDGsクラブ プロジェクトチーム 実施計画書

提案者名	紙の循環から始める地域共創プロジェクト推進フォーラム
プロジェクト名	紙の循環から始める地域共創プロジェクト

1. プロジェクトの概要

① 目的 (解決したい課題など)	北九州市八幡東区内での「紙循環システムの構築」と「新たな雇用の創出」を通して、環境×経済×社会の価値共創と、サーキュラー&シェアリング社会の実現を目指す。
② 達成したい SDGsのゴール	6「安全な水とトイレを世界中に」8「働きがいも 経済成長も」9「産業と技術革新の基盤をつくろう」11「住み続けられるまちづくりを」12「つくる責任 つかう責任」15「陸の豊かさも守ろう」
③ 具体的な活動内容	<p>■活動</p> <p>①：「地域内における紙の循環システム」の社会実証</p> <p>i)サーキュラー&シェアリングエコノミーの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業、団体、学校、自治体等（以下プロジェクト会員）の協働により使用済み古紙を回収 ・「ペーパーラボ」※の共同利用、再生紙からアップサイクル製品を開発、共創し、地域に還元する →地域内における「紙の地産地消」を目指す <p>ii)包摂性の高い社会の実現（ソーシャルインクルージョン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別、再生加工等については障害者福祉事業者が主体的参画 →障害者雇用機会の創出と職域拡大を目指す <p>※「ペーパーラボ」（乾式オフィス製紙機）</p> <p>https://www.epson.jp/products/paperlab/?fwlink=productstop_21</p> <p>②：「SDGs 貢献活動の情報発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトメンバーの本活動への協力、取り組み内容を各種メディアを通じ情報発信 →北九州市の先進的な活動として全国にPRし、シビックプライドの醸成ならびにSDGs 推進に貢献する <p>■活動開始日 2020年10月1日～</p> <p>■実施場所 ヒューマンメディア創造センター 住所 〒805-0071 北九州市八幡東区東田 1-5-7</p>
④ 活動による成果	<ul style="list-style-type: none"> ・水を使わずに使用済みの紙から新たな紙を生産することで水・木材資源節約、CO2 排出量削減 ・新たな紙購入削減により、ゴミ排出量削減 ・多様な人材の活用等による社会貢献 ・自治体/学校/企業ネットワーク構築による地域活性化
⑤ 数値目標	<p>20団体以上のプロジェクト参加</p> <p>10団体以上の古紙回収もしくはアップサイクル製品の購入サービス利用（2021年度以降）</p> <p>2021年3月末までに15万枚のA4PPC用紙の古紙回収</p> <p>2022年3月末までに40万枚のA4PPC用紙の古紙回収</p>
⑥ 資金・物資計画	<p>1) 設備、作業スペース等整備：エプソン販売にて協力</p> <p>2) 再生加工等実費（消耗品等）は利用者から徴収（次年度以降）</p>

2. 参加メンバーへの期待

① 参加してほしいメンバー	企業、各種団体、関係機関、自治体など
② 想定しているメンバー数（予定）	多様なセクターからの20団体程度の参画を想定 ① 八幡東田まちづくり関係企業・団体：（5団体程度） ② 地元企業、地域団体・機関（5団体程度） ③ 教育機関：（5団体程度） ④ 公共関連等：北九州市、北九州SDGsクラブ 他
③ メンバーへの期待	幅広い機関、団体等の結集を図り、パートナーシップの協働、共創による循環型社会の実現

3. 実施スケジュール（概要）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	次年度以降	
活動1	▲ 体験会開催（随時）、古紙再生サービス開発						▲ 【必須】 活動報告書 提出（3月末）	▶
活動2	▲ アップサイクル製品の開発、販売等						▲ 【必須】 活動報告書 提出（3月末）	▶

※活動が複数ある場合は、活動1、活動2…として記載してください

※スケジュールの詳細な資料がある場合は、別途ご提出ください。

4. その他特記事項

① その他特記事項	取組・活動については、地元メディアへの発信を行う共に、エプソンのホームページ、並びに各種マスメディア媒体で積極的にPRを予定
-----------	--

5. 連絡窓口

企業・団体名	「紙の循環から始める地域共創プロジェクト」 推進フォーラム事務局
部 署	エプソン販売(株)スマートチャージ MD 部 ペーパーラボ MD 課内
担当者名	多田 悠輝
メールアドレス	TADA.YUKI@exc.ehb.epson.co.jp

紙の循環から始める地域共創プロジェクト

提案者： 紙の循環から始める地域共創プロジェクト推進フォーラム

プロジェクトの目的（解決したい課題など）

北九州市八幡東区内での「紙循環システムの構築」と「新たな雇用の創出」を通して、環境×経済×社会の価値共創と、サーキュラー&シェアリング社会の実現を目指す

関連するゴール

ゴール6：安全な水とトイレを世界中に	ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに	ゴール8：働きがいも 経済成長も
ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう	ゴール11：住み続けられるまちづくりを	ゴール12：つくる責任 つかう責任
		ゴール15：陸の豊かさも守ろう

活動概要

①：「地域内における紙の循環システム」の社会実証

i)サーキュラー&シェアリングエコノミーの実現

- ・地域の企業、団体、学校、自治体等（以下プロジェクト会員）の協働により使用済み古紙を回収、「ペーパーラボ」※の共同利用、再生紙からアップサイクル製品を開発、共創し、地域に還元する

ii)包摂性の高い社会の実現

- ・分別、再生加工等については障害者福祉事業者が主体的参画
→障害者雇用機会の創出と職域拡大を目指す

②：「SDGs貢献活動の情報発信」

- ・プロジェクトメンバーの本活動への協力、取り組み内容を各種メディアを通じ情報発信



成果・数値目標

20団体以上のプロジェクト参加、10団体以上の古紙回収もしくはアップサイクル製品の購入サービス利用（2021年度以降）

2022年3月末までに40万枚のA4PPC用紙の古紙回収など